

江戸の装身具

- 会場 1階 松平家史料展示室
- 会期 平成26年9月3日(水)
~10月14日(火)
- 休館日 9月22日(月)

装身具とは

体を美しく装う装身具はもともと魔よけやお守りといった呪術的な目的や社会的地位を表す道具として用いられました。日本では古墳時代まで首飾りや腕輪、耳飾などが用いられていましたが、その後ほとんど用いられなくなりました。再び身体を着飾る道具が盛んに用いられてくるのが江戸時代です。外出の際に必要な小物類を入れる袋や刀など実用的な道具が美しく装飾されました。江戸時代の装身具は呪術や社会的地位を示すだけでなく、「着物」姿をよりお洒落に装う道具として用いられました。

袋物

現在のバッグやポーチのように身の回りの細々としたものを、持ち運ぶための袋のことを「袋物」といいます。代表的なものに懐紙や鼻紙を入れるための「紙入れ」やたばこを携帯するための「たばこ入れ」などがあります。これらは錦などの高級織物や皮革で作られ、更に刺繍や押絵（厚紙を布裂で包んで文様を表したもの）といった細工を施したりしました。紙入れなど袋物は普段は着物の懐にしまわれていますが、懐から一部が覗いたり、使用する際に人目につくさりげないお洒落道具でした。袋物は着物ならではの実用性と装飾性を兼ね備えた装身具といえます。



(写真) 竹雀模様綴錦懐中物（紙入、煙草入、煙管入）
福井市春嶽公記念文庫



印籠・根付

印籠はもともと薬を携帯するための容器で、紐を帯の間に通し、腰に提げました。印籠がいつ頃からあったのか不明ですが、江戸初期頃には既に形が定まり、江戸時代を通じて武士から町人まで幅広い階層で用いられました。印籠の両側には紐が通され、その紐の先には根付 - 現在のストラップがつけられました。印籠の多くは木製漆塗で、根付は主に木材や象牙で作られています。そこには伝統的な吉祥文様から動植物や道具、物語、神仏まで多様な題材が蒔絵や金工、彫刻などであらわされ、持ち主や製作者の趣味や遊び心と江戸時代の工芸技術の高さをうかがうことができます。

(写真) 松に鶴文様蒔絵印籠 福井市春嶽公記念文庫

刀装具

刀は武士が外出する際には必ず身につけるものですから、武士のファッションの要でもありました。現代の男性が腕時計や靴やネクタイなどに気を使うように、刀の外装「拵」のコーディネートに趣向をこらしました。また江戸幕府は武家に対してもぜいたくを禁じていましたが、刀装についてはその対象外としていましたから、鞘塗や金工などの技術は大いに発展しました。これらの職人が生み出したさまざまなデザインは、時代を超えて現代の私たちの眼をも魅了します。



(写真) 鯉鱗包鞘大小拵 福井市春嶽公記念文庫

No.	資料名	員数	所蔵	備考
身支度を整える				
1	九曜紋蒔絵旅櫛箱	一式	越葵文庫	
2	九曜紋蒔絵渡金箱	一式	越葵文庫	
3	九曜紋蒔絵耳盥	一式	越葵文庫	
4	九曜紋蒔絵御漱茶碗・台	一式	越葵文庫	
5	萌黄縮緬地御所車唐冠唐团扇草花流水模様単衣	1領	福井市春嶽公記念文庫	
6	簪・笄・櫛	一式	福井市春嶽公記念文庫	19～20世紀作
7	山景図夏扇	1握	越葵文庫	
8	秋草に鹿図扇子	1握	越葵文庫	
袋物				
9	宝尽模様金襴御守袋	1個	越葵文庫	
10	葵紋付吉祥模様錦御守袋	1個	越葵文庫	
11	龍丸模様錦掛守	1個	越葵文庫	
12	唐花雲模様錦掛守	1個	越葵文庫	
13	錦または押絵各種楊枝入	4個	個人蔵・当館保管	慎姫より拝領
14	鱗入子菱句玉模様袂落とし	1個	福井市春嶽公記念文庫	松榮院所用
15	軍配団扇散し模様紙入	1個	福井市春嶽公記念文庫	松榮院所用
16	葵立涌模様綾錦紙入	1個	福井市春嶽公記念文庫	松平春嶽所用
17	月下梅樹模様押絵紙入	1個	福井市春嶽公記念文庫	松榮院所用
18	錦各種紙入	5個	個人蔵・当館保管	慎姫より拝領
19	鶴霞模様綴錦懐中物（紙入、煙草入、煙管、煙管入）	1組	福井市春嶽公記念文庫	明治二年正月十二日賢所御神楽御拝詰ニ付御圖御拝領
20	竹雀模様綴錦懐中物（紙入、煙草入、煙管、煙管入）	1組	福井市春嶽公記念文庫	明治二年正月十三日御小座敷御圖御拝領
21	菊縞模様綴錦腰差し煙草入（煙草入、煙管入）	1組	福井市春嶽公記念文庫	
印籠・根付				
22	湖畔飛鶴図蒔絵印籠	1腰	福井市春嶽公記念文庫	
23	唐獅子牡丹文様蒔絵印籠	1腰	福井市春嶽公記念文庫	
24	松に鶴文様蒔絵印籠	1腰	福井市春嶽公記念文庫	
25	山水図文様蒔絵印籠	1腰	福井市春嶽公記念文庫	
26	入船文様蒔絵印籠	1腰	福井市春嶽公記念文庫	
27	牡丹に孔雀文様蒔絵印籠	1腰	福井市春嶽公記念文庫	
刀剣外装				
28	石目地塗葵紋散鞘半太刀大小拵	1具	福井市春嶽公記念文庫	松平春嶽所用
29	朱色革包鞘大小拵	1具	福井市春嶽公記念文庫	松平春嶽所用
30	鯉鱗包鞘大小拵	1具	福井市春嶽公記念文庫	松平春嶽所用
31	蛇皮包大小替鞘	1対	福井市春嶽公記念文庫	松平春嶽所用
32	石目地塗青貝梵字入大小替鞘	1対	福井市春嶽公記念文庫	松平春嶽所用
33	蠟色塗鞘打刀拵	1具	越葵文庫	
34	梅花皮朱塗鞘打刀拵	1具	当館	
35	突兵拵	1具	当館	西南戦争時装備品
36	石目地塗鞘脇指拵	1具	越葵文庫	
37	金梨子地葵紋高蒔絵鞘合口拵	1具	越葵文庫	
38	青貝微塵蛭巻鞘脇指拵	1具	越葵文庫	
39	腰小刻印籠刻黒潤塗鞘短刀拵	1具	当館	
40	花梨魚尽短刀拵	1具	福井市春嶽公記念文庫	
41	金梨子地花筏高蒔絵合口短刀拵	1具	越葵文庫	
刀装具				
42	金細引目貫	1具	福井市春嶽公記念文庫	伝後藤乘真作
43	金二疋獅子目貫	1具	福井市春嶽公記念文庫	伝後藤乘真作
44	金花菱目貫	1具	福井市春嶽公記念文庫	伝後藤宗乗作
45	金這龍目貫	1具	福井市春嶽公記念文庫	伝後藤宗乗作
46	金機織虫目貫	1具	福井市春嶽公記念文庫	伝七郎作
47	金獅子目貫	1具	福井市春嶽公記念文庫	
48	金大根目貫	1具	福井市春嶽公記念文庫	
49	金二疋獅子目貫	1具	福井市春嶽公記念文庫	
50	金二疋亀目貫	1具	福井市春嶽公記念文庫	
51	金龍目貫	1具	福井市春嶽公記念文庫	
52	赤銅色絵花菱目貫	1具	福井市春嶽公記念文庫	
53	赤銅色絵平刀目貫	1具	福井市春嶽公記念文庫	
54	赤銅御紋三ツ付目貫	1具	福井市春嶽公記念文庫	
55	赤銅色絵鍊宝珠目貫・赤銅色絵筆目貫	1具	福井市春嶽公記念文庫	
56	赤銅五ツ紋目貫・赤銅色絵南天目貫・赤銅色絵藪柑子目貫・赤銅鶴目貫・赤銅色絵獅子菊目貫	一括	福井市春嶽公記念文庫	
57	丸に四ツ石紋散壺目貫	1具	福井市春嶽公記念文庫	
58	梅花散縁頭 銘久恒	1具	福井市春嶽公記念文庫	
59	龍図小柄・笄 銘東益常	1具	福井市春嶽公記念文庫	
60	獅子図小柄・笄 銘菊岡光利	1具	福井市春嶽公記念文庫	
61	權に船図小柄・笄	1具	福井市春嶽公記念文庫	

次回の展示 松平家史料展示室

テーマ展 「越前松平家伝来の将軍家の遺宝」

期 間 平成26年10月17日(金)～12月14日(日)
休館日 11月4日(火)・25日(火)・26日(水)

松平家史料展示室 展示解説シート No.84
平成26年9月3日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1
電話 (0776)21-0489 FAX(0776)21-1489
担当 松村知也・藤原千穂・佐々木佳美

印刷 宮本印刷